

平成27年度第3回宮城大学教育研究審議会 議事録（平成27年6月定例）

| | |
|--------|---|
| 開催日時 | 平成27年6月17日（水） 14:30～17:30 |
| 開催場所 | 大和キャンパス本部棟3階 大会議室 |
| 出席者 | <p>西垣学長, 河端副理事長(総務企画担当), 高山理事(教育担当)・共通教育センター長, 岩堀理事(研究担当), 高橋理事(人事労務担当), 大和田理事(財務担当), 竹内理事(地域連携担当)・地域連携センター長, 小嶋副学長(特命事項担当), 吉田看護学部長・研究科長, 徳永事業構想学部長・研究科長, 齋藤食産業学部長・研究科長, 原看護学部副学部長, 風見事業構想学部副学部長, 井上(達)食産業学部副学部長, 武田看護学研究科副研究科長, 井上(誠)事業構想学研究科副研究科長, 川村食産業学研究科副研究科長, 茅原総合情報センター長, フェラン国際交流・留学生センター長, 小野(秀)リメディアル教育センター長, 真覚学生部長, 桑名看護学部教授, 富樫(敦)事業構想学部教授, 富樫(千)食産業学部教授, 兵藤事務部長, 小野(幸)健康支援センター長, 田邊キャリア開発センター長</p> <p align="right">《教育研究審議会構成員28名中 27名出席》</p> |
| 欠席者 | 長屋副学長 |
| 事務局 | 野村企画財務課長, 熊谷参事兼学務課長, 千葉太白事務室長, 旗野教務GL, 佐藤学生支援GL, 佐藤教務・学生支援GL, 矢部主査 |
| 議事等の概要 | <p>1 議事録について</p> <p>(1) 前回(H27.5.20)議事録の確認について 議事録原案に対する意見を求めたところ, 異議がなく, 原案のとおりとすることが確認された。</p> <p>(2) 平成27年度第3回宮城大学教育研究審議会議事録署名人について 今教育研究審議会の議事録署名人として, 高山理事を指名した。</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 平成26年度業務実績報告書案について(議案1)</p> <p>(2) 第1期中期目標期間評価案について(議案2) 河端副理事長から, 議案1及び議案2について説明された。同日開催された評価委員会において, 両案が承認された旨報告されるとともに, 宮城県に提出するまでのスケジュールと県の評価委員会の開催予定が説明された。平成26年度業務実績報告書案における法人の自己評価として, 評定Ⅳ, Ⅲ, Ⅱの割合が, それぞれ前年度比で8%減少, 7%増加, 1%増加となったこと, また, 第1期中期目標期間評価案においては, 評定Ⅳ, Ⅲ, Ⅱの割合が, それぞれ暫定評定と比較して3.8%増加, 4.6%減少, 0.9%増加となったこと等が説明され, 異議なく承認された。</p> <p>(3) 平成27年度客員教員の選考について(議案3) 竹内理事から, 客員教員候補者として2名の推薦があり, 異議なく承認された。</p> |

(4) 宮城大学将来ビジョンと大学の改革について（議案4）

小嶋副学長（特命事項担当）から、大学改革の基本構想と基本計画をまとめた「宮城大学将来ビジョンと大学の改革について」の説明が行われた。

これに対して、委員からは、学部から学群への再編の意義、大学改革に関する所要経費、コアカリキュラムの編成、設置申請となる場合の作業プロセス等に関して意見・質問があり、小嶋副学長から、指摘のあった項目等について補強していく旨回答があった。

また、西垣学長から、胸を張れる地域の大学として、他の大学とは異なる特色ある教育を行うためにどうすればよいかという意見を小嶋副学長に寄せるよう、委員に指示があった。

3 報告事項

(1) 各種報告

①大和町との連携協定について（報告資料1）

竹内理事から、協定書案、協定締結までのスケジュール及び今年度事業について説明がされた。

②美里町との連携事業について（報告資料2）

竹内理事から、平成26年度に開催された「まちづくりアイデアコンテスト in 美里」において美里町長賞を受賞した本学の学生による企画案が具体的に事業化されることとなったほか、今年度も同様のコンテストが開催される予定であるとの報告がされた。

③日本政策金融公庫との産学連携の協力推進に関する覚書の締結について（報告資料3）

竹内理事から、日本政策金融公庫との産学連携の協力推進に関する覚書の締結調印書を6月29日（月）午後3時から本学大会議室で行うとの報告がされた。

④その他

・障害者差別解消法への対応について

西垣学長から、障害者差別解消法が平成28年4月から施行されることから、小野健康支援センター長、真覚学生部長等のほか、在籍中の学生を加えたワーキンググループを立ち上げて、本学としての対応を検討していきたいとの考えが示された。また、各学部長を中心に施設の安全点検を実施するよう指示が出された。

さらに、佐藤学生支援グループリーダーから、在仙大学におけるワーキンググループでの検討状況等について報告がされた。

・専門分野別評価（看護）について

吉田看護学部長から、専門分野別評価（看護）に関し、日本看護系大学協議会総会において機構を立ち上げ内容の検討を進めていくことが承認されたこと、また、同評価の実施が今後徹底されることになれば、本学も加盟することになることが報告された。

議事等の
概要

(2) 教授会審議状況報告

①看護学部（報告資料4）

吉田学部長から、6月3日に第3回学部教授会を開催し、履修登録間違いによる登録修正、公衆衛生看護学実習選抜基準、公衆衛生学の科目担当申請について審議したことが報告された。

②看護学研究科（報告資料5）

吉田研究科長から、6月3日に第3回研究科教授会を開催し、平成27年度学位論文指導体制、博士論文の公表について審議したことが報告された。

③事業構想学部（報告資料6）

徳永学部長から、6月10日に第3回学部教授会を開催し、平成28年度一般選抜入試 個別学力検査スケジュールについて審議したほか、大学改革推進本部会議について報告し、意見聴取を行ったことが報告された。

④事業構想学研究科（報告資料7）

徳永研究科長から、6月10日に第3回研究科教授会を開催し、非常勤講師の任用、平成27年度修士論文中間発表、博士論文のインターネット公表に関する許諾書、アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブについて審議したことが報告された。

⑤食産業学部（報告資料8）

齋藤学部長から、6月10日に第3回学部教授会を開催し、平成28年度入学一般選抜個別学力検査試験時間について審議したほか、交通事故防止について学生に注意喚起するよう教員に伝達したことが報告された。

⑥食産業学研究科（報告資料9）

齋藤研究科長から、6月10日に第3回研究科教授会を開催し、博士論文審査について審議したほか、食産業学研究科(博士前期課程)特別選抜<推薦入学>試験出願資格認定審査申請状況について報告したことが報告された。

西垣学長から、自転車の使用については、登録制・許可制にしたいとの考えが示され、各学部の特性にあわせた保険の加入とあわせて、検討するよう指示があった。

(3) 学内委員会等報告

①評価委員会（報告資料10）

河端副理事長から、6月17日に第2回委員会を開催し、平成27年度教員評価、平成26年度業務実績報告書案、第1期中期目標期間評価案について審議したことが報告された。

②学務入試委員会（報告資料11）

高山理事から、6月3日に第3回委員会を開催し、FD研修会、夏のオープンキャンパス、講義開放 Week 及び秋のオープンキャンパスについて審議したことが報告された。

③研究委員会（報告資料12）

岩堀理事から、5月27日に第2回委員会を開催し、公的研究費の管理運用に関する教職員誓約書、研究交流フォーラム等について審議したことが報告された。8月

10日午後に、研究倫理教育に関する講演会、教職員誓約書提出、研究交流フォーラムを実施することが報告された。

④広報委員会（報告資料13）

河端副理事長から、6月9日に第3回委員会を開催し、広報誌「宮城大学 NEWS vol.6（案）」、9月の広報計画（案）について審議したほか、認知度向上の取り組みについて検討を行ったことが報告された。

⑤共通教育運営委員会（報告資料14）

高山理事から、6月10日に第3回委員会を開催し、平成29年度以降の基盤教育、語学教育について審議したほか、平成27年度後期科目等履修生、単位互換学生への提供科目、大和キャンパスにおける「数学概論」の学修支援等について報告を行ったことが報告された。

⑥総合情報センター運営委員会（報告資料15）

茅原センター長から、6月17日に第3回委員会を開催し、海外電子資料への消費税課税等に関する対応について審議したほか、活字及び活版印刷機収蔵式、個人情報を含む重要情報の適正な管理等について報告を行ったことが報告された。

西垣学長から、学内諸活動におけるUSBメモリーなどの記憶媒体の使用も含めて、情報の適切な管理について検討するよう指示が出された。

⑦国際交流・留学生センター運営委員会（報告資料16）

フェランセンター長から、日仏文化交流プロジェクトについて説明されるとともに、5月21日に第2回委員会、6月16日に第3回委員会を開催し、リアル・アジア7の実施準備状況、トビタテ留学JAPAN、JETROインターンシップ応募結果、グローバル・レンジャーに学生35名が登録したこと等について報告を行ったことが報告された。

⑧地域連携センター運営委員会（報告資料17）

竹内理事から、6月12日に第3回委員会を開催し、客員教員の推薦、大和町との連携協定、美里町との連携事業等について審議したほか、文部科学省事業である「南三陸コミュニティ復興支援プロジェクト」等について報告を行ったことが報告された。

(4) その他

①田邊キャリア開発センター長から、本年3月卒業生の就職状況、現4年生の就職活動状況について報告があった。現4年生の就職活動は、早期化・長期化・選別強化の状況にあるほか、オワハラが問題となっていること、内定状況は、事業構想学部・食産業学部ともに2割程度で全国平均レベルにあることが説明された。

②真覚学生部長から、学生のアルバイトに関して、試験期間中にもかかわらずアルバイトを休ませてもらえなかった結果、履修に影響が出た例があり、ブラックバイトの問題が身近に存在することが報告された。また、学生の学内外での事故等が多発していることが報告され、各教員においては、学生への目配り、リスク管理や事故防止に向けた注意喚起等を行うよう依頼された。

③6月30日付で退職する大和田理事から挨拶があり、西垣学長はじめ委員全員で謝意を示した。

この議事録は、平成27年度第3回宮城大学教育研究審議会の議事の経過及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、議長のほか議事録署名人がこれに記名押印する。

平成27年7月15日

公立大学法人宮城大学教育研究審議会 議長 西垣 克 印

同 議事録署名人 高山 登 印